



特定非営利活動法人

スペシャルオリンピックス日本・北海道

2023 年度 定期総会

次 第

1.開会

2.理事長あいさつ

理事長 阿部 雅司

3.議長選出

4.議事録署名人の指名

5.定足数の確認

6.議案

- 第 1 号議案 2022 年度事業報告（案）の件
- 第 2 号議案 2022 年度会計・業務監査報告（案）の件
- 第 3 号議案 役員選任（案）の件
- 第 4 号議案 2023 年度事業計画（案）の件
- 第 5 号議案 2023 年度活動予算（案）の件
- 第 6 号議案 その他

7.報告事項

8.議長退任

9.閉会

スポーツの力で更なる飛躍を！

～アスリートが躍動する機会の提供～



コロナ禍と言われたこの数年間、日常生活において行動制限がかかり、試行錯誤の日々でありました。しかしながら、昨年は北京冬季五輪の日本選手団のメダル奪取に始まり、大谷翔平選手のメジャーリーグでの活躍、サッカーW杯における侍ブルーのベスト16進出など、閉塞感ある世の中にスポーツが元気と活力を与えてくれました。

前回総会において、「今だから出来ることを皆さんと考え、協力しながら前を向いてまいりたい」とご挨拶をさせていただきました。行動制限のある中、スペシャルオリンピックスの理念に共感した多くの仲間が集まり、我々の活動を支えてくれました。

昨年7月、EKSDAY2022を北ガスアリーナ札幌46で開催し、北海道のプロスポーツ球団のご協力をいただき、皆さんでスポーツを楽しむことが出来ました。その後レバンガ北海道と共同で札幌みなみの杜高等支援学校に出前授業を行うなど、活動の輪を広げました。本年度も更に広げてまいりたいと思っております。

そして、11月には「第8回スペシャルオリンピックス日本夏季ナショナルゲーム・広島」が広島県にて開催され、北海道選手団27名が参加。アスリートは日ごろの成果を存分に発揮し、素晴らしい成績を収めました。

SONが掲げるスローガン「Be with all」知的障害のある人々とのスポーツを通じた様々なユニファイド活動により、多くの気づきと行動を生み出す。このスローガンのもと、今年も多くの機会を創出し、集う皆さん全員が笑顔になれるよう活動を推進してまいりますので、よろしく願い申し上げます。

2023年3月22日

特定非営利活動法人スペシャルオリンピックス日本・北海道

理事長 阿部雅司



第 1 号議案 2022 年度事業報告（案）の件

2022 年度事業報告書
2022 年 1 月 1 日～2022 年 12 月 31 日

1. SON 関連事業

3 月 26 日（土）～27 日（日）出席：中田、細谷、塩崎

- ・ 事務局長全国会議、SP 委員長全国会議、地区連絡協議会
- ・ 分科会、北海道・東北ブロック上半期会議 幹事地区：SON・北海道

11 月 4 日（金）～6（日）参加：北海道選手団 27 名（アスリート 16 名、役員等 11 名）

- ・ 2022 年第 8 回スペシャルオリンピックス日本夏季ナショナルゲーム・広島

<成績> 陸上：銀 2 個、競泳：金 2 個、銀 1 個

ボウリング：銀 1 個、銅 1 個、バスケット：金 2 個、銀 4 個

11 月 12 日（土）出席：中田

- ・ 北海道・東北ブロック下半期会議 幹事地区：SON・青森
持続可能な地区組織運営に関する手引きについて
2023 年度コーチクリニック年間実施計画の調整
北海道・東北ブロック競技会 北海道名寄大会開催について

2. SON・北海道事業

1. 総会・理事会

- ・ 2022 年度定期総会（3 月 19 日（土）オンライン：全議案承認）
- ・ 2022 年度第 1 回理事会（3 月 19 日（土）オンライン）
- ・ // 第 2 回理事会（7 月 23 日（金）北海道教育大学サテライト）
- ・ // 第 3 回理事会（10 月 22 日（土）三川屋会館）

2. イベント

- ・ EKSDAY2022（7 月 18 日（月）北ガスアリーナ札幌 46）
- ・ レバンガ北海道とスポーツを楽しもう！IN 市立札幌みなみの杜高等支援学校
（11 月 23 日（水）市立札幌みなみの杜高等支援学校）
- ・ 一緒にブースターを迎えてレバンガ北海道を応援しよう！IN 北海きたえーる
（12 月 3 日（土）北海きたえーる）

3. 会議等

- ・ 2022 年度常任理事会（月 1 回原則第 3 週金曜日に開催）
- ・ 広報チーム会議（随時）



3.主な事業・活動

【EKSDAY2022 北ガスアリーナ札幌 46】

コロナ禍で中断していた EKSDAY を開催。以前はボウリングを行っていましたが、今回は自治体をはじめ、SON、プロスポーツ球団、ボランティアの皆様にご協力をいただき北ガスアリーナ札幌 46 で開催しました。会場には多くのアスリートとファミリー、ボランティアの皆様総勢約 300 名が一堂に会し、スポーツを通して笑顔が溢れました。



<来賓>

スペシャルオリンピックス日本 理事長 有森裕子 様

B.LEAGUE チェアマン 島田慎二 様

レバンガ北海道 代表取締役社長 折茂武彦 様

レバンガ北海道 選手 橋本竜馬 様、松下裕汰 様 レバード

エスポラーダ北海道 監督 金井一哉 様、選手 水上玄太 様 仁科佑太 様 山下颯大 様

リスポ

北海道コンサドーレ札幌 C.R.C 河合竜二様、ドーレくん

北海道日本ハムファイターズ B☆B

北海道オール・オリンピアンズ GM 鈴木 靖 様、近江谷杏菜 様（フォルティウス）

<協力団体ほか> （共催）一般財団法人札幌市スポーツ協会

（後援）北海道/北海道教育委員会/札幌市/札幌市教育委員会/北海道教育大学

（協力団体）公益財団法人スペシャルオリンピックス日本/公益社団法人
ジャパン・プロフェッショナル・バスケットボールリーグ/
札幌中島ライオンズクラブ/ソニー生命保険株式会社/北海
道コカ・コーラボトリング株式会社/北海道オール・オリ
ンピアンズ/レバンガ北海道/エスポラーダ北海道/北海道日本
ハムファイターズ/北海道コンサドーレ札幌/日本視能訓練
士協会/日本視能訓練士協会北海道ブロック/株式会社ニコ
ン・エシロール/北海道大学大学院歯学研究院/日本障害者歯
科学会/株式会社ガーランド/有限会社ウエムラストジオ

※EKSDAY（ユニス・ケネディ・シュライバー・デー）とは、「知的障害のある人と共にスポーツを楽しむ」ことを通じて、社会の多様性と調和を目指す精神を世界に広めた SO 創設者ユニス・ケネディ・シュライバーの功績を記念し、世界各地でこの日に合わせて「Play Unified to Live Unified（共にスポーツし、共に生きる）」をテーマに、障害のある人となない人が共同で行う活動を展開している。

【レバンガ北海道と連携協定 北ガスアリーナ札幌 46】

今年 6 月に多様な人々がお互いを認め合い、それぞれの個性を活かすことが出来るインクルージョン社会の実現を推進することを目的とした「Challenge with ALL」プロジェクトが発足し、その初めての「エリアアクション」として、SON・北海道とレバンガ北海道が連携しました。

今後は、普及活動や交流イベントなど連携し、より地域に根ざした活動を目指します。



【2022年第8回スペシャルオリンピックス日本夏季ナショナルゲーム・広島】

北海道選手団 27名は、大会前日の11月3日から広島入りし本大会に向けて心も体も整えてまいりました。この2年と数か月の間、コロナ禍によりトレーニングもままならない中、アスリートは心を奮い立たせ、多くの仲間を支えられて心身を鍛え当日を迎えました。本番ではひとり一人が全力で競技に向き合い、ゴールした姿は達成感に溢れ、この5日間でまた逞しくなることができました。





～第8回スペシャルオリンピックス日本夏季ナショナルゲーム・広島 北海道選手団～

<アスリート>

陸上：旭川 熊本小菜実、杉内琴音、浅野滉太、穴田黎耶

名寄 大黒亮

競泳：札幌 曾我部永遠、斎藤毅

紋別 木村雅幸

ボウリング：紋別 山内朋美

名寄 松実夏李



バスケット：函館 東山依音那、安藤光佑、山口貴司、宮崎楓雅
旭川 一色優輔 中村洋芳

<スタッフ>

団長：事務局長 中田公成

副団長：副理事長 檜山雪枝

陸上：旭川 今野征大（ヘッドコーチ）、

札幌 塩崎日奈（コーチ）

紋別 本間明（コーチ）

競泳：紋別 松浦靖（ヘッドコーチ）、

ボウリング：旭川 上野昇留（ヘッドコーチ）

紋別 田中奈津江（コーチ）、

バスケット：函館 細谷一博（ヘッドコーチ）、蜂谷桃花（コーチ）、山本寛樹（コーチ）

【SON・北海道プレゼンツ レバンガ北海道とスポーツを楽しもう！IN 市立札幌みなみの杜高等支援学校】

SON・北海道とレバンガ北海道が普及活動や交流イベントなど連携し、より地域に根ざした活動を行うことを目指し実現しました。会場の市立札幌みなみの杜高等支援学校には、みなみの杜高等支援学校の生徒のみなさんの他、SON・北海道のアスリートやボランティアのみなさん、約60名が参加しました。





【SON・北海道プレゼンツ 一緒にブースターを迎えてレバンガ北海道を応援しよう！IN
北海きたえーる】

札幌と名寄のアスリート 4 名のほか、みなみの杜高等支援学校から 2 名の生徒が参加し、
来場した皆さんへのチラシ配りのお手伝いを行いました。

アスリートも一生懸命チラシ配りをし、その後の試合観戦では、本物の迫力に興奮し皆でレ
バンガ北海道を応援しました。



【どさんこサポーター制度設立】

スペシャルオリンピックス日本・北海道では、本活動の趣旨に賛同し協力してくださるアド
バイザーを任命する「どさんこサポーター制度」を設立しました。アドバイザーは今後日常
のプログラムを通してともに汗を流すほか、スペシャルオリンピックス日本・北海道の活動
に参加いただけます。

どさんこサポーター NO.1 近江谷 杏菜 (オオミヤ アンナ)

生年月日：1989年10月12日

日本の女子カーリング選手。フォルティウス所属。

<経歴>

2010年 バンクーバー冬季オリンピック：8位

日本カーリング選手権 優勝

2011年 日本カーリング選手権 2位

2012年 日本カーリング選手権 3位

2015年 第32回日本カーリング選手権大会 - 優勝

2021年 第38回日本カーリング選手権大会 - 優勝

2022年 第39回日本カーリング選手権大会 - 4位





■日々の活動～フォトギャラリー～■



年があけすぐに旭川でスノーシューイング、クロスカントリースキープログラムを実施



名寄では2月恒例のアルペンスキーキャンプ in ピアシリを開催



旭川のバスケットプログラムも1年ぶりに再開



紋別の陸上プログラムも3年ぶりに再開しました！



函館のゴルフプログラム。ラウンド目指して練習！練習！



札幌で真夏の30度超えの中、競泳プログラムを実施！アスリート頑張っています！



多くの支援者のお力を借りてラウンドレッスンを開催（函館パークカントリー）



名寄では阿部理事長も参加して陸上トレーニング



紋別の陸上プログラムは、多くの皆さんに支えられ計 18 回実施できました。
ありがとうございました。

第 2 号議案 2022年度会計・業務監査報告(案)の件

設立10年度 特定非営利活動に係る事業会計 活動報告書

令和4年1月1日から令和4年12月31日まで

特定非営利活動法人スペシャルオリンピックス日本・北海道

(単位:円)

科目	内 訳	金 額	
I 経常収益			
1 受取会員			
個人正会員受取会費	1口5,000円×116	580,000	
団体正会員受取会費	1口10,000円×30	300,000	
個人賛助会員受取会費	1口3,000円×19	57,000	
団体賛助会員受取会費	1口10,000円×39	390,000	1,327,000
2 受取寄付金			
受取寄付金			
指定寄付金	2022夏季NG広島寄附金他	736,298	
特別寄付金	端数倶楽部 他	100,000	
一般寄付金	資金造成・募金・廃品回収・自販機 他	313,704	1,150,002
3 受取助成金			
受取助成金	地区特別助成金(NG功労金初年度分)他	3,366,000	3,366,000
4 事業収益			
各種参加費負担収益	各種プログラム・競技会参加・EKS他	873,840	
	AIU/ボランティア保険	198,910	1,072,750
5 その他収益			
受取利息		37	
雑収入		0	37
経常収益計			6,915,789
II 経常費用			
1 事業費			
① 人件費			
給料手当		0	
法定福利費		0	
人件費計		0	
② 人件費以外の経費			
スポーツプログラム事業費	ホウリウカ・水泳・陸上・スキー・クロカン他	113,163	
競技備品費	競技用具代	211,633	
競技会事業費		0	
研修費	コーチ研修・専門委員他	18,703	
広報事業費	HPサーバー代他	7,848	
行事費	V説明会・サンキュー・EKS他	1,595,272	
その他経費			
人件費以外の経費		1,946,619	1,946,619
事業費計			1,946,619
2 管理費			
① 人件費			
給料手当	アルバイト		
人件費計		0	
旅費交通費	運営委員会・旅費他	1,907,080	
会議費	会場費・駐車場他	21,805	
通信運搬費	資料発送代・切手・電話他	110,281	
水道光熱費	電気料	0	
消耗品費	コピー用紙・封筒代・印刷他	217,605	
賃借料	事務所管理費他	120,000	
保険料	AIU/ボランティア保険	214,829	
雑費	会費・香典・振込料他	69,320	
人件費以外の経費		2,660,920	2,660,920
管理費計			2,660,920
経常費用計			4,607,539
当期正味財産増減額			2,308,250
仮払金(準備金支出)			
前期繰越正味財産額			3,998,010
その他事業より組入れ			
次期繰越正味財産額			6,306,260

設立10年度 特定非営利活動に係る事業会計 貸借対照表

R4.1.1 から R4.12.31 まで

特定非営利活動法人スペシャルオリンピックス日本・北海道

科目・摘要		金額 (単位:円)			
I 資産の部 1 流動資産	現金		556,020		
	普通預金		5,895,240		
	定期預金		0		
	前払費用 仮払金	0 0		0	
	貯蔵品		0		
	流動資産合計				6,451,260
2 固定資産			0		
	固定資産合計				0
	資産合計				6,451,260
II 負債の部 1 流動負債	未払金 前受金	0 145,000		145,000	
	R5年分個人正会員会費等		145,000		
2 固定負債	流動負債合計			145,000	
	固定負債合計			0	
	負債合計				145,000
	正味財産額				6,306,260

令和4年12月31日現在

現金預金の内訳

地区	現金	普通預金		計
北海道	463,084	2,985,488 1,828,141 253,257	事務局長 北洋銀行 ゆうちょ 北星信金	5,529,970
紋別	38,912	211,265		250,177
札幌	0	71,836		71,836
名寄	0	88,421 350,000	ゆうちょ	438,421
函館	0	106,832		106,832
釧路	54,024			54,024
計	556,020	5,895,240		6,451,260

監査報告書

令和5年3月4日

特定非営利活動法人
スペシャルオリンピックス日本・北海道
理事長 阿部 雅司 様

特定非営利活動法人
スペシャルオリンピックス日本・北海道
監事 檜山 秀明
監事 大黒 伸一



私たち監事は、令和4年1月1日から令和4年12月31日までの令和4年度の監査を行いました。その方法及び結果について、次のとおり報告いたします。

1. 監査の方法及びその内容

各監事は、理事会、運営委員会その他重要な会議に出席し、その職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を受け、重要な決算書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査しました。以上の方法により、当該会計年度に係る事業報告等について検討しました。

さらに会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該会計年度に係る計算関係書類（計算書類及び付属明細書）及び財産目録について検討いたしました。

2. 監査意見

① 事業報告等の監査結果

事業報告等は、法令及び定款に従い法人の状況を正しく示しているものと認めます。役員職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

② 計算関係書類及び財産目録の監査結果について

計算関係書類及び財産目録については、法人の財産、収支及び純資産の増減の状況を全ての重要な点において適正に示していると認めます。

③ その他

○コロナ禍での活動も3年目を迎えましたが、各地区プログラムにおいてはWithコロナの感染対策を行なったの活動と思います。

競技種目によっては、再開できないものもあるかと思いますがこれからも、感染対策をしっかりと行なって活動してください。

- 財務関連におきましては、今後も賛助企業を増やしていくことが大事です。
今回 EKS では参加アスリートやボランティアには大きな成果をあげましたが、それにかかる費用対効果からみると賛助企業の獲得がもっとできるのではないかと思います。
また普段の活動からも特に旭川や札幌など企業数の多いところでの獲得を期待します。コロナ禍での活動を周知していただくことに難しいところもありますが、過去の活動内容や映像などを使って理解してもらうことも必要です。

- 来年のナショナルゲーム冬季雪上大会には、名寄地区会員や組織役員だけではなく全道規模の意識とすることが大切です。開催場所が名寄市ということもありますが、北海道地区が請け負う大会なので、北海道全体が関わるようであれば開催の意味が半減してしまいます。事前準備活動も含めた広範囲での体制づくりが必要です。

第3号議案 役員選任（案）の件

特定非営利活動法人 スペシャルオリンピックス日本・北海道

理事候補者

・熊川勇人 京王観光株式会社 支店長

【参考】特定非営利活動法人 スペシャルオリンピックス日本・北海道役員一覧

役職	氏名	備考	任期
理事長	阿部雅司	前 SON 理事、冬季五輪金メダリスト	2
副理事長	池崎 潤	札幌プログラム代表、会社役員	2
副理事長	檜山雪枝	SON ナショナルトレーナー	2
事務局長	中田公成	会社役員	2
常任理事	細谷一博	函館プログラム事務局、北海道教育大学教授	2
理事	遠藤和之	会社役員	2
理事	大山祐太	北海道教育大学准教授	2
理事	今野征大	旭川プログラム事務局、教諭	4
理事	塩崎日奈	会社員	2
理事	杉山幹夫	会社員	2
理事	鈴木 靖	北海道オール・オリンピックス GM	2
理事	袖城浩二	ソニー生命	2
理事	鶴嶋浩二	会社役員	2
理事	田頭 理	弁護士	5
理事	田中豊一	釧路プログラム代表、教諭	5
理事	本間 明	会社員	5
理事	吉野隆宏	函館プログラム代表、特別支援学校校長	5
監事	大黒伸一	SON スポーツトレーナー	4
監事	檜山秀明	元 SON 理事、会社役員	2

理事長・副理事長・常任理事以下五十音順

第 4 号議案 2023 年度事業計画（案）の件

2023 年度事業計画書

2023 年 1 月 1 日～2023 年 12 月 31 日

1. SON 関連事業

- ・ SON 新役員体制、事業構想発表会 並びに創立 30 周年記念式典
日時：2023 年 3 月 26 日（日）13：00～17：00
会場：ヒルトン東京お台場 1 階 大宴会場 「ペガサス」
- ・ SON 事務局長全国会議及び SP 委員会全国会議（オンライン）
日時：2023 年 4 月 22 日（土）
9:30～10:45 地区連絡協議会・SON 事業方針の説明
10:45～12:00 SP 委員会全国会議・SP 計画の説明
13:00～13:30 地区連絡協議会・表彰地区組織の事例発表
13:30～15:00 全国事務局長会議・グループディスカッション

2. 北海道・東北ブロック会議：幹事地区：SON・青森→SON・秋田

- ・ 4 月 22 日（土） 上半期会議（オンライン）
- ・ 9 月実施予定 下半期会議（未定）

3. SON・北海道事業

①総会

- ・ 2023 年度定期総会（3 月 22 日（水）オンライン及び書面にて表決）

②理事会・各会議

- ・ 2023 年度第 1 回理事会（3 月 22 日（水）オンライン）
- ・ 第 2 回理事会以降は随時日程調整を行い実施する。なお、現在のところ、7 月、9 月、11 月を予定。

4. 競技会・コーチクリニック

- ・ 2 月 4 日（土）5 日（日）第 5 回 SON 北海道冬季大会 名寄 実施済み
- ・ 3 月 18 日（土）スノーシューイング、クロスカントリースキー
- ・ 3 月 19 日（日）アルペンスキー
- ・ 3 月未定 スノーボード
- ・ 6 月未定 卓球
- ・ 7 月未定 陸上競技



第 5 回 SON 北海道冬季大会の様相

5.各プログラム活動

スポーツプログラムは競技毎に実施。

6.その他

① 2023 年度常任理事会（随時開催）

② ホームページの更新

1 月 30 日（月）からホームページをリニューアルしました。ページの下部にカレンダーを設置し、今後各プログラムの開催日時などを共有できるようにしました。

③ BOWLEX JAPAN 2023 in HOKKAIDO

一般社団法人北海道ボウリング場協会主催の全国大会が 12 年ぶりに北海道で開催されます。6 月 4 日（日）にはスペシャルオリンピックスの大会を札幌市内で開催。招待を受けております。

④ レバンガ北海道と共同事業

5 月に札幌で地域清掃活動（ごみ拾い）を計画

⑤ スペシャルオリンピックス日本・北海道 EKSDay2023IN 北ガスアリーナ札幌 46

7 月 17 日（月：海の日）10 時 00 分～

ユニファイドレクリエーション及び健康に関するセミナーを実施予定。ファミリー、ボランティアのほか、支援いただいている諸団体にもお声がけする。

また、昨年協力いただいたプロ球団や各障害者団体、高等支援学校にも声がけを行いより多くの皆さんとスポーツを楽しむ 1 日にしたいと思います。

第5号議案 2023年度活動予算(案)の件

設立11年度 特定非営利活動に係る事業会計 活動予算書

令和5年1月1日から令和5年12月31日まで

特定非営利活動法人スペシャルオリンピックス日本・北海道

(単位:円)

科目	内 訳	金 額	
I 経常収益			
1 受取会員			
個人正会員受取会費	1口5,000円×145	725,000	
団体正会員受取会費	1口10,000円×29	290,000	
個人賛助会員受取会費	1口3,000円×15	45,000	
団体賛助会員受取会費	1口10,000円×56	560,000	1,620,000
2 受取寄付金			
受取寄付金			
指定寄付金	NG長野・北海道他	500,000	
特別寄付金	端数倶楽部 他	300,000	
一般寄付金	資金造成・募金・廃品回収・自販機 他	400,000	1,200,000
3 受取助成金			
受取助成金	地区特別助成金(NG功労金最終年度)ほか	2,800,000	
			2,800,000
4 事業収益			
各種参加費負担収益	各種プログラム・競技会参加・EKS他	500,000	
	AIU/ボランティア保険	40,000	
			540,000
5 その他収益			
受取利息		0	
雑収入		0	0
経常収益計			6,160,000
II 経常費用			
1 事業費			
① 人件費			
給料手当		0	
法定福利費		0	
人件費計		0	
② 人件費以外の経費			
スポーツプログラム事業費	ホウリンコ・水泳・陸上・スキー・クロカン他	250,000	
競技備品費	競技用具代	200,000	
競技会事業費		0	
研修費	コーチ研修・専門委員他	150,000	
広報事業費	HP保守料他	250,000	
行事費	V説明会・EKS・NG北海道他	2,000,000	
人件費以外の経費		2,850,000	
事業費計			2,850,000
2 管理費			
① 人件費			
給料手当	アルバイト	100,000	
人件費計		100,000	
旅費交通費	理事会・旅費他	300,000	
会議費	会場費・駐車場他	50,000	
通信運搬費	資料発送代・切手・電話他	150,000	
水道光熱費	電気料	0	
消耗品費	コピー用紙・封筒代・印刷他	200,000	
賃借料	事務所管理費他	120,000	
保険料	AIU/ボランティア保険	200,000	
雑費	会費・香典・振込料他	100,000	
人件費以外の経費		1,120,000	
管理費計			1,220,000
経常費用計			4,070,000
当期正味財産増減額			2,090,000
仮払金(準備金支出)			
前期繰越正味財産額			6,306,260
その他事業より組入れ			
次期繰越正味財産額			8,396,260